

各ワーキンググループの2025年度活動報告 及び2026年度の取組について

農林水産業振興ワーキンググループの取組

■第4回ワーキンググループ

2025年9月9日（火）

<概要>

・県における担い手確保・育成に係る取組の状況について共有 等

対策

①農林漁業者確保推進事業費

市町村等の情報を集約し、スマートフォンでアクセスできる農林水産就業支援プラットフォームの整備

②農業人材力強化総合支援事業費補助金

親元就農等における農業機械・施設等の導入や修繕などの支援

③新たな養殖業導入促進事業費

カキ、アサリ養殖に新たに取り組む漁業者グループの設備導入等を支援

④森林環境譲与税活用事業費人材育成事業費

高性能林業機械の導入支援や就業希望者と林業経営体のマッチングを支援するための就業相談会を開催

⑤農泊地域プロモーション事業費

県域のネットワークを構築し、モニターツアー、農山漁村への宿泊・農林漁業体験等を通じて農山漁村の関係人口増加を図る

⑥あいち型産地パワーアップ事業費

中山間地域等へのポイント加算を実施、また、事業実施に係る、産地要件の受益面積についても同地域への特例措置を検討

■第5回ワーキンググループ

2026年2月10日（火）

<概要>

- ・県における担い手確保・育成に係る取組の成果の説明
- ・中山間地域等の人口減少地域で活用できる事業等を共有

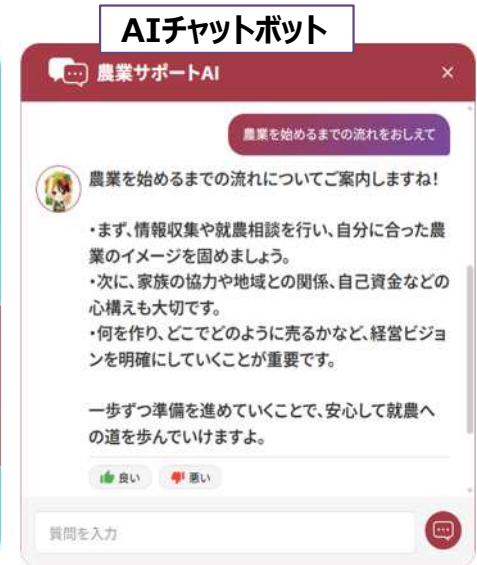
2025年度の取組 1 / 2

農水WG

新規
参入
促進

① 農林漁業者確保推進事業費

- ・ 就業支援プラットフォーム（あいち農林漁業スタートガイド「あいちから」）を整備し、2026年2月17日に公開
- ・ 農林水産業の魅力発信動画、先輩新規就農者へのインタビュー動画、AIチャットボット、かんたん農業経営シミュレーション、市町が導入している未来の農地マップと連携した農地情報の提供、農業塾等のイベント情報等を搭載



② 農業人材力強化総合支援事業費補助金

新技術の導入等の取組により親元就農者に原則49歳以下の認定新規就農者に対し、就農直後の期間（3年以内）に最大150万円/年を交付

1. 農業用機械・施設等の修繕・移設・撤去等の経営資源の有効利用、法人化、専門家の活用等の円滑な経営移譲に向けた取組
2. 機械・施設等の導入



実施状況

親元就農者 | 4人（過年度採択を含む）

実施状況

採択者 | 63人

補助額 | 362,626千円（国費＋県費）

※第2回農林水産業振興WG開催（2025/2/10）時点

③新たな養殖業導入促進事業費

市町が作成する、新たな養殖技術*を活用した養殖振興計画に基づき県が養殖資材（養殖籠、浮（フロート）、錘、支柱）を5年間漁協に貸し出す *カキ養殖（シングルシード式）、アサリ養殖（垂下式）



養殖籠



生産物（カキ）



生産物（アサリ）

実施状況

以下の地区へ養殖資材を貸し出し、新たな養殖業の導入を支援

計画認定地区	養殖魚種
西尾市(西三河漁協)	カキ、アサリ
南知多町(篠島漁協)	カキ
田原市(渥美漁協、小中山漁協)	カキ、アサリ

④森林環境譲与税活用事業費人材育成事業費

- 高性能林業機械の導入に係る長期リースに対する支援
- 就業希望者と林業経営体のマッチングを支援するため、30代以下の愛知県在住者を対象に、SNS広告(YouTube、Facebook等)を発信し、就業相談会を開催

実施状況

- 高性能林業機械導入支援 | 2 林業経営体
- 50万回以上のSNS広告を発信
30代以下の来場者の割合 | 約3倍にアップ
R5 18% ⇒ R7 52%

⑤農泊地域プロモーション事業費

県域のネットワークを構築し、モニターツアーの実施や、農山漁村への宿泊・農林漁業体験等を通じて農山漁村の関係人口増加を図る

実施状況

- 県内農泊地域2か所以上周遊する、愛知県内の農泊地域の魅力が体験できるモニターツアーを実施し、参加者の評価や意見を集約し農泊事業の推進についての課題や改善点等を分析。
- インフルエンサーによる農泊体験の情報発信を実施し、視聴者のデータの集積・分析を実施した。

あいち型産地パワーアップ事業費

事業実施に係る産地要件について、中山間地域を対象とした特例措置を2026年度から実施できるように検討

実施状況

2026年度から中山間地域における受益面積を以下のとおり緩和
受益面積 | 露地 3ha ⇒ 1.5ha
施設 1ha ⇒ 0.5ha

2026年度の取組

農水WG

事業名

予算額

新規参入促進

- ①**農林漁業者確保推進事業費** ※新しい地方経済・生活環境創生交付金
2025年度に整備した就業支援プラットフォーム（あいちから）のコンテンツ等の充実を図る 40,308 千円
- ②**農業人材力強化総合支援事業費補助金** ※新規就農者育成総合対策
新規親元就農者に対する支援 522,000 千円

経営基盤安定化

- ③**新たな養殖業導入促進事業費**
新技術を活用した養殖を開始する産地支援 9,460 千円
- ④**森林環境譲与税活用事業費人材育成事業費** ※森林環境譲与税
高性能林業機械の導入支援、SNS広告を活用した就業相談会の開催 18,937 千円

地域活性化

- ⑤**農泊地域プロモーション事業費** ※農山漁村振興交付金のうち地域資源活用
価値創出推進・整備事業（農泊推進型） 2,528 千円
農山漁村に滞在して農業体験などを行う農泊モニターツアーの実施

※は、活用を見込んでいる国の交付金等

あいち型産地パワーアップ事業費 400,000 千円

ワーキンググループの開催予定

- ・年2回程度開催予定（夏頃、年度末）
- ・取組の進捗共有やフォローアップ等を実施しながら、新たな課題が顕在化した場合は対策を検討

地域交通確保ワーキンググループの取組

公共交通を取り巻く環境や課題に対応するための3つの観点に基づき、取組を実施した。

観点1 幹線軸の交通の維持・充実

観点2 地域内交通のモード最適化、
交通空白地解消

観点3 担い手の確保

○2025年度のワーキンググループの活動状況

区分	内容
第4回ワーキンググループ	2025年度の取組状況の共有
現地視察	公共ライドシェアの立ち上げ支援(ワークショップ)の視察
勉強会	県の実証事業(MaaS、AIオンデマンド)を題材にした事例研究・ 知見の共有
第5回ワーキンググループ	2025年度の取組結果と今後の方向性の確認

観点1

幹線軸の交通の維持・充実

主な取組

県

- ・ **【拡充】バス補助金の対象拡大**
補助対象路線の拡充: 5路線・約36百万円
- ・ **MaaSの普及促進**
＜実証実験の概要＞
地域: 小牧市など尾張北部5市町
期間: 2025年9月から12月(約3か月)
内容:
 - ・ バスの位置や運行情報をリアルタイムで確認できるポータルサイトの構築
 - ・ デジタルチケットの販売
 - ・ お出かけコースなどの観光情報や地域情報の提供

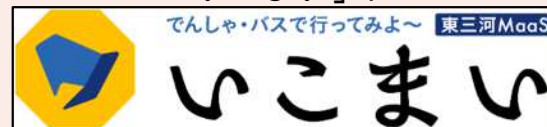
市町村

- ・ 高校生向け通学定期券などの購入補助
- ・ 待合設備の利便性向上(什器の設置、トイレ改修等)
- ・ サイクルバスの実証運行
- ・ 東三河MaaS「いこまい」の運営への協力

＜MaaS実証実験ポスター＞



＜「いこまい」のロゴ＞



観点2

地域内交通の
モード最適化、
交通空白地解消

主な取組

・【新規】公共ライドシェアの立ち上げ支援

<概要>

対象地域：岡崎市額田地域、田原市渥美地域、
設楽町田口地域・名倉地域

期間：2025年9月～2026年1月

回数：各地域4回（合計12回）

内容：各地域へコーディネーターを派遣し、
ワークショップの企画や運営の支援

<ワークショップの様子>



県

・ AIオンデマンドの普及促進

<実証実験の概要>

地域：南知多町及び美浜町の一部

期間：2025年9月から2026年1月（約4.5か月）

内容：AIを活用した専用システムを使用し、利用者の
予約に応じた乗合サービスの提供

<AIオンデマンドの出発式>



市町村

- ・ ボランティア輸送等の取組に係る情報発信や補助
- ・ 住民主体の地域交通に対する運行費の補助

観点3
担い手の確保

主な取組

- 【新規】地域交通に取り組む人材育成のための
セミナー開催及び教材作成

第1回	講師	富山大学 猪井准教授
	テーマ	地域交通を検討する際のノウハウ習得
第2回	講師	名古屋学院大学 水谷准教授
	テーマ	ファシリテート・コーディネートスキル習得

<セミナーの様子>



県

- 【新規】公共ライドシェアの立ち上げ支援(ワークショップ)の
視察

対象：岡崎市額田地域 第3回ワークショップ

<教材パンフレットの表紙>

- 【新規】県の実証事業(MaaS、AIオンデマンド)を
題材にした事例研究や知見を共有する勉強会の開催
- 【新規】「あいち外国人材受入サポートセンター」の設置
対象：県内の中小企業等・外国人
内容：企業・外国人双方に対応した相談窓口の設置、企業向けセミナー・
伴走支援の実施、合同企業説明会の開催



市町村

- 外国人運転士の確保に向けた包括連携協定に基づく取組
- 公共ライドシェアのドライバー報酬に対する補助

引き続き、3つの観点に基づき、地域交通の確保に向けた取組を着実に実施するとともに、データ活用の手法を取り入れるなど改善を図っていく。

観点1

幹線軸の交通の
維持・充実

	主な取組
県	- 複数市町村を結ぶバス路線への補助 2025年度に拡充した要件を継続し、旧市町村域を跨ぐ路線や一部コミュニティバスを補助対象とする - MaaSの普及促進 複数市町村の連携による周遊や交流を促進する取組を支援
市町村	- 高校生向け通学定期券などの購入補助 - 待合設備の利便性向上（運行情報を表示するディスプレイやエアコンの設置等） - サイクルバスの実証運行拡大 - 東三河MaaS「いこまい」の運営への協力

観点2

地域内交通の
モード最適化、
交通空白地解消

	主な取組
県	- 公共ライドシェアの立ち上げ支援 導入に向けた地域の気運醸成、合意形成を促進 - AIオンデマンドの普及促進 市町村域を跨ぐ交通空白の課題解消を支援
市町村	- ボランティア輸送等の取組に係る情報発信や補助 - 住民主体の地域交通に対する運行費の補助 - 公共ライドシェアの導入実証実験

観点3

担い手の確保

	主な取組
県	【新規】公共交通の仕事の魅力発信イベントの開催 商業施設等において主にファミリー層を対象に2回開催 【新規】外国人を対象としたバス運転体験・就業マッチングイベントの開催 バス運転手を確保するため、外国人を対象としたバスの運転体験や就業マッチングイベントを実施 - 地域交通に取り組む人材育成のためのセミナー開催及び教材作成 市町村及び交通事業者の職員向けのセミナーを2回開催するとともに、より実務的なパンフレットを作成
市町村	- 外国人運転士の確保に向けた包括連携協定に基づく取組 - 事業者と連携した企業説明会の開催 - 公共ライドシェアのドライバー報酬に対する補助

【ワーキンググループの開催予定】

- 2回程度の開催（夏頃、年度末）
 - 取組の進捗確認やフォローアップ、事例の横展開等を行いつつ、新たに顕在化した課題への対応や事業の深度化に向けて、施策案を検討していく。
 - 国の制度の動向やデータ活用の事例など、事業の効果的な実施に向けた情報共有や意見交換を行っていく。

空き家活用ワーキンググループの取組

■ 県の2025年度における取組

市町村からの課題	検討の方向性	市町村を支援するための県の取組(2025年度)
老朽化	検討の方向性① 空き家の改修等の支援	○ 空家等対策推進事業費補助金(うち民間空家住宅等改修費補助事業) 空家等対策推進事業費補助金の移住・定住者向け改修への活用支援
マッチング 空き家情報 空き家バンク 家財処分 利活用 農地処分 地域意識	検討の方向性② 空き家の所有者と移住希望者のマッチング支援	○ あいち空き家活用広域マッチングプラットフォーム運営費(新規) 移住希望者等が、市町村を限定せず広域で空き家を探せる、専門家と連携した相談窓口を開設
市街化調整区域	検討の方向性③ 特措法に基づく空き家の利活用の促進	○ 愛知の住みやすさ発信事業費(うち移住・定住促進加速化事業(新規)) 「愛知県移住・定住ポータルサイト」の掲載情報充実や利便性向上を図るリニューアル
		○ 市街化調整区域における空家等活用促進区域の設定等について、各市町村それぞれの実情や課題を踏まえ、市町村と共に検討

■ 県の2025年度における取組

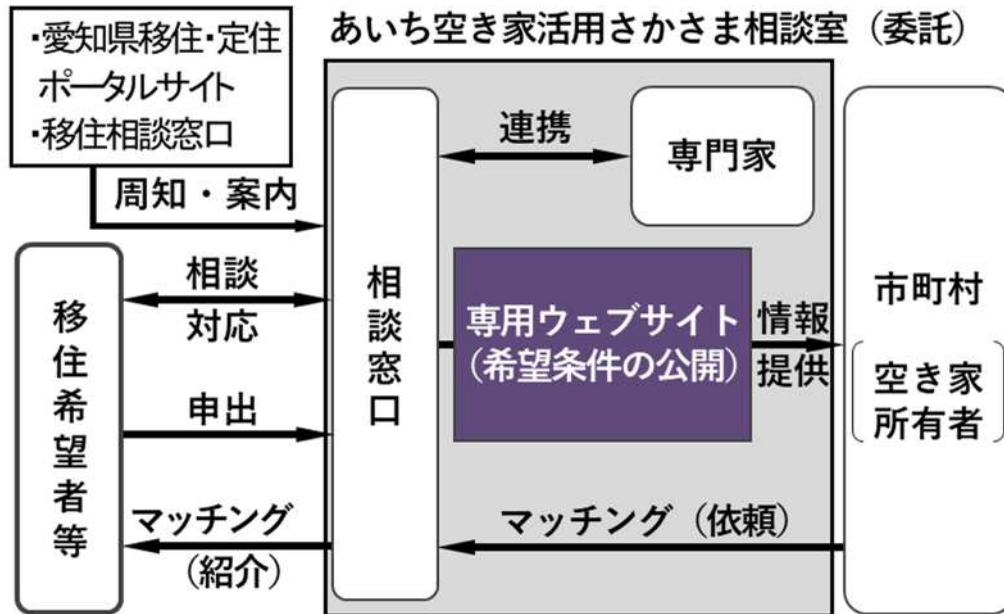
取組施策	取組	取組結果
空家等対策推進事業費補助金 (うち民間空家住宅等改修費補助事業)	○ 補助制度に関して市町村の個別相談に対応 ○ 補助制度の創設を市町村に働きかけ	○ 2025年度改修補助実施自治体数の増加(2→5) ○ 2026年度改修補助制度創設自治体数の増加(21→24)
あいち空き家活用広域 マッチングプラットフォーム運営費 (新規)	○ 「あいち空き家活用さかさま相談室」の開設	○ 移住希望者等の相談に専門家と連携して対応 ○ 移住希望者等の希望条件を公開するとともに市町村に情報提供 【マッチング希望者数23名(本日時点)】
愛知の住みやすさ発信事業費 (うち移住・定住促進加速化事業) (新規)	○ 「愛知県移住・定住ポータルサイト」のリニューアル	○ 県の支援情報に関する掲載情報の充実 ○ 市町村の支援情報に関する利便性の向上
市街化調整区域における空家等活用促進区域の設定等	○ 設定にあたり市町村で整理すべき事項の共有 ○ 設定を予定している市町村の個別相談に対応	○ 新城市が2025年度に設定(全国初)

2025年度の活動報告

空き家WG

■ あいち空き家活用広域マッチングプラットフォーム運営費(2025年度新規取組)

【スキームイメージ図】



【マッチング希望者 23名(本日時点)】



母の故郷・日本で長期滞在し、文化と人とのつながりを深めたい！

2026.01.07



子どもも大人も安心して”今の自分”を生きられる「居場所シェアハウス」の3拠点目を田舎につくりたい

2026.01.30



一生の思い出に残るような、人情味あふれる「泊まれる居酒屋」をやりたい！

2026.01.30



サウナで建物、地域、人を再生したい！

2026.01.30

【専用ウェブサイト】



2025年度の活動報告

空き家WG

■「愛知県移住・定住ポータルサイト」のリニューアル(2026.1.23公開)(2025年度新規取組)

【トップページ】



【サブページ(住まい)】



【検索画面】

支援情報



【検索結果(住まい)】

※コアメンバー11市町村で検索したものの一部を抜粋

市町村	支援情報	詳細・お問い合わせ先
南知多町 住まい	空き家対策総合支援事業補助 空き家バンクの利用者で物件所有者または移住者が空き家の改修をする場合に、対象経費の3分の2(上限30万円)を補助します。	詳細ページ ☐ 防災交通課 0569-65-0711
美浜町 住まい	新築及び中古住宅取得費補助金 本町への転入及び定住促進、居住環境の向上を目的とし、町内に住宅を新築、若しくは新築住宅又は中古住宅を購入した方に対し補助をします。補助対象者が限定されるため要件の確認が必要です。	詳細ページ ☐ 地域戦略課プロモーション係 0569-82-1111
岡崎市 住まい	岡崎市産材住宅建設事業費補助金 市内で伐採された木材を使用して、一戸建住宅の新築又は増改築をする場合に補助金が交付されます。	詳細ページ ☐ 中山間政策課 0564-82-3102

■ 県の2026年度における取組

2025年度取組施策	顕在化した課題	課題への対応(2026年度)
空家等対策推進事業費補助金 (うち民間空家住宅等改修費補助事業)	○ 交付金支給要件の「10年以上の活用」が困難	○ 県補助は国補助を要件としており、活用期間は国の補助要件であるため、 <u>課題を国と共有</u>
あいち空き家活用広域 マッチングプラットフォーム運営費	○ 周知が不十分 ○ 空き家情報の掘り起こし不足	○ <u>今年度作成したリーフレットや動画を活用した周知</u> ○ 掲載者情報を見た空き家所有者から情報が来るよう <u>市町村と連携して働きかけ</u>
愛知の住みやすさ発信事業費 (うち移住・定住促進加速化事業)	○ 定期的な記事の発信、拡散が必要 ○ ポータルサイトの周知が不十分	○ <u>移住イベントの掲載など、積極的に情報発信</u> ○ SNS等を活用した <u>周知広告を引き続き配信</u>
市街化調整区域における空家等活用促進区域の設定等	○ 必要となる協議内容が不明 ○ 他自治体の事例不足	○ 愛知県空き家対策担当者連絡会議等で協議内容や他自治体事例の共有など、 <u>引き続き市町村を支援</u>

2026年度の取組

空き家WG

■ 2026年度のWG開催予定

- WGを年2回開催し、県及び市町村の取組について進捗状況を共有
- 特徴的な事例を共有するとともに、新たな課題が顕在化した場合は必要な対策を検討

2024年度	2025年度	2026年度
県・市町村が連携し取組を推進		
○ 対策検討会議 (5/17) ● 第1回WG (6/28) ● 第2回WG (8/30) ● 第3回WG (2/17) ○ 対策検討会議 (3/28)	● 第4回WG (9/8) ● 第5回WG (2/6) ○ 対策検討会議 (3/27)	● WG (夏頃) ● WG (年度末) (対策検討会議) <WG> ・県及び市町村の取組の進捗状況共有 ・特徴的な事例共有 ・顕在化した課題の対策検討 など

地域産業振興ワーキンググループの取組

1 市町村における課題等について

- ・構成員市町村への訪問ヒアリング、アンケート、オンラインミーティングにより、各市町村の抱える課題等について意見を聴取。
- 地域産業を支える中小企業の事業承継及び人材確保について、多くの意見が聞かれた。**

事業承継

<現状・課題>

- ・中小企業の**経営者の高齢化**や**後継者不足**が課題。
- ・漫然と事業を承継するだけでなく、**事業承継に合わせた新規事業への取組**も必要。
- ・後継者同士の**ヨコのつながり**が構築できていない。



<市町村からのアイデア・要望等>

- ・円滑な事業承継に資する事業が良い。
- ・**事業承継を契機とした企業変革への取組を支援し、事業承継をチャンスと捉えられるような機運を醸成して欲しい。**
- ・**後継者同士のコミュニティ組成**は事業者の少ない地域だけでは成り立たないので、**県が広域で取り組んで欲しい。**

人材確保

<現状・課題>

- ・中小企業の**人手不足**や**若者・女性流出**が課題。
- ・**企業の知名度がない**ために採用活動が難しい。
地元企業の魅力をもっと知ってもらうことが必要。
- ・**県外に出た大学生等に戻ってきて就職してもらうこと**も必要。



<市町村からのアイデア・要望等>

- ・**企業のブランディング・魅力発信**は重要。
- ・企業のPRのためのスキル習得などへの支援があると良い。
- ・**県外で開催される就職説明会への出展支援等**があると良い。

⇒これらを踏まえ、新たに①**中小企業後継者育成事業**、②**中小企業採用力強化支援事業**の2事業を実施。

2 実施事業について（後継者育成）

愛知県の事業

中小企業後継者育成事業 予算額：33,378千円

事業の趣旨・目的

- ✓ 企業の存続に必要な知識習得と能力育成など**後継者の成長を支援し、円滑な事業承継を促進。**
- ✓ **早期事業承継の機運を醸成し、廃業を防ぎ、雇用の維持・創出**に繋げる。

事業概要

- ・後継者が行う**企業変革（経営改善・改革、新規事業開発等）プランの策定支援**プログラムの実施
- ・**後継者同士のコミュニティの組成**
- ・事業承継・後継者支援の**機運醸成に向けたセミナー及びシンポジウム**の開催
- ・HPやSNS等を活用した上記の成果や後継者の活躍の発信

市町村の主な関連施策

- ・行政・支援機関等で構成される**事業承継支援のネットワーク会議**の開催
- ・**事業承継に係る個別相談会**の実施
- ・事業承継を契機とした**第二創業**などに係る経費に対する補助
- ・事業承継計画の作成費用など**事業承継に要する経費**に対する補助

2 実施事業について（採用力強化支援）

愛知県の事業

中小企業採用力強化支援事業 予算額：30,723千円

事業の趣旨・目的

- ✓ 県内中小企業が認知度向上のための手法を学び、身に付けたノウハウを県外の就職・転職フェアへの出展等の採用活動に生かす取組を支援することで、**県外からの人材の移住促進**と、**不足する産業人材の確保を推進**。

事業概要

- ・採用のための**自社ブランディングセミナー等の開催**
- ・**専門家が採用戦略等について助言・指導**する伴走型支援の実施
- ・県外で開催される就職・転職フェアへの**出展費用等への補助**

市町村の主な関連施策

- ・県の移住支援等の事業と連携した、**東京圏から移住・就職した人に対する「移住支援金」・「地方就職支援金」の支給**
- ・地域の企業や支援団体等と連携した、**雇用の創出・推進に係る協議会**の開催
- ・**若者を招いての町内での職場見学・業務体験**の実施
- ・市内での就業希望者や高校生等を対象とした、**市内企業の説明会**の実施

3 2026年度のWGについて

- ・県の事業や市町村の関連する施策の**進捗状況等の共有・意見交換**をし、事業効果の最大化を目指す。
- ・2027年度からの実施に向けて、**観光分野における新たな施策の検討を進める**。

<WGの開催実績・予定等>

	2025年度	2026年度	
愛知県・市町村 人口問題対策検討会議	会議開催	(会議開催)	
地域産業振興WG	第1回WG (7月)	第2回WG (2月)	第3回WG（年度前半） ＜主な議題（想定）＞ ・県の両事業及び市町村の 関連施策の進捗状況の共有等 ・新たな施策【観光分野】 (2027年度～)の検討
			第4回WG（年度後半） ＜主な議題（想定）＞ ・県の両事業及び市町村の 関連施策の進捗状況の共有等 ・新たな施策【観光分野】の 説明・情報共有